

(参考) 認知症ケアカンファレンス(初回・〇回目)

開催日	年 月 日	時間	～	場所
参加者				
患者名		生年月日	年 月 日生	歳
テーマ				

現在の状態

現病歴	既往歴	服薬等状況
日常生活状況	支援状況	家族関係
環境	行動面	心理面
今後に向けた課題など		

【事例検討会の記載項目の留意点】

<身体的要因>

病歴から現在の症状、認知症の中核症状・BPSD 出現、他の疾患からの影響する症状（加齢に伴う変化、日常生活の変化、食事、排泄、内服薬）

<精神・心理的要因>

これまでの生活歴や他者との関係から与えられる心理的な内容からみた視点

<環境要因>

認知症では、環境の変化に適応しきれず BPSD が悪化していく場合が多くある。そのため生活習慣や今いる環境を、その人の目線で考え本人の安心や安全な場所とした環境作りを検討する。これまでの生育歴や家族関係、性格なども大切な情報となる。

<その他の項目>

既往歴（認知症症状の経過と他疾患との関連性を考える）

生活歴など（職業、職歴、生育歴、エピソード、趣味、飲酒、嗜好品、生活リズム、排泄パターン）（日常生活動作ができることとできないことを把握、人柄を理解し、その人にあったケアの工夫をする）

- 現病歴（認知症以外の病気も含む）検査データ、スケール、処方薬など
（病気の経過や認知症との関連性を知る。認知症の人の中核症状を理解する）
（今後に向けた課題（退院後の課題）記載事例
- ・ 離床する時間を作る
 - ・ 生活リズムを整えるために看護師で話し合う
 - ・ 家族とケアマネジャーが話し合い退院を考える
 - ・ 妻や子どもに介護指導をする